

SBI-PIMCO 世界債券 アクティブファンド(DC)

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第2期

決算日：2020年10月5日

作成対象期間：2019年10月4日～2020年10月5日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「SBI-PIMCO 世界債券アクティブファンド(DC)」は、2020年10月5日に第2期の決算を行いました。当ファンドは、主として、世界の債券・通貨などに投資を行い、安定的な収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行いました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第2期末(2020年10月5日)	
基準価額	10,415円
純資産総額	216百万円
第2期	
騰落率	2.60%
分配金(税込み)合計	0円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス⇒「ファンド」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・レポート」を選択⇒「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

SBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社

〒106-6015 東京都港区六本木1-6-1



03-6229-0147

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)



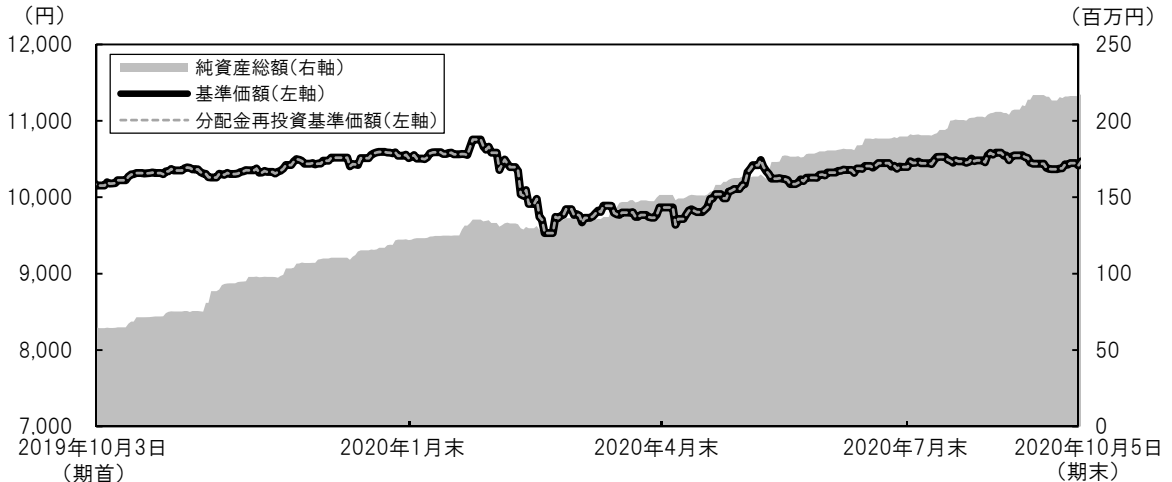
<https://www.sbibim.co.jp/>



ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

運用経過

◀ 基準価額等の推移 ▶ (2019年10月4日～2020年10月5日)



期 首 : 10,151円

期 末 : 10,415円(既払分配金(税込み):0円)

騰 落 率 : 2.60%(分配金再投資ベース)

- (注1) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算し、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。

◀ 基準価額の主な変動要因 ▶ (2019年10月4日～2020年10月5日)

【上昇要因】

当作成期は、新型コロナウイルスの影響から世界的な景気減速懸念が広がり、また、各国中央銀行の金融緩和を受けて海外債券市場が堅調に推移したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

【下落要因】

投資家のリスク回避姿勢が強まり、米ドルなど一部通貨が対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

≪ 1万口当たりの費用明細 ≫ (2019年10月4日～2020年10月5日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	86	0.84	(a) 信託報酬＝ 期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(66)	(0.64)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(17)	(0.17)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.03)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
合 計	86	0.84	
期中の平均基準価額は、10,297円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

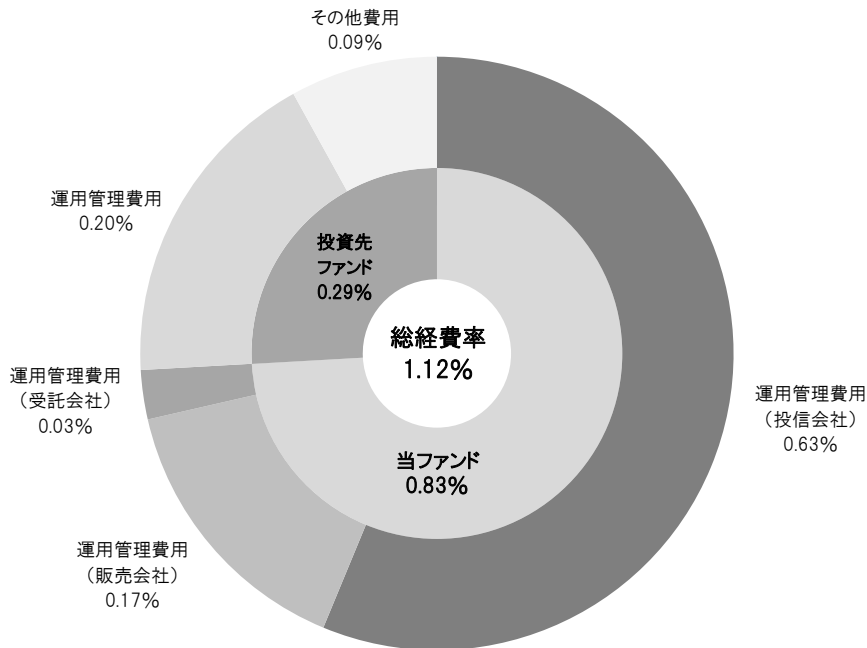
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.12%です。



(単位:%)

総経費率(①+②)	1.12
①当ファンドの費用の比率	0.83
②投資先ファンドの経費率(運用管理費用以外の費用を含む)	0.29

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理比率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

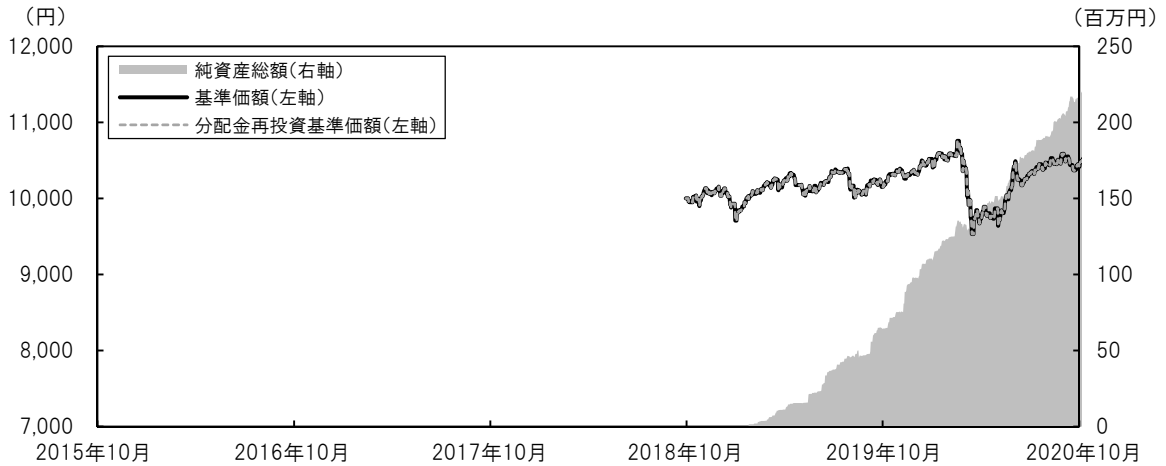
(注4) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◀ 最近5年間の基準価額等の推移 ▶ (2015年10月5日～2020年10月5日)



(注) 設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ(2018年10月4日～2020年10月5日)のみの記載となっております。

	2018年10月4日 設定日	2019年10月3日 決算日	2020年10月5日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,151	10,415
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	1.51	2.60
純資産総額 (百万円)	0	64	216

(注1) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2019年10月3日の騰落率は設定当初との比較です。

◀ 投資環境 ▶ (2019年10月4日～2020年10月5日)

米国債券市場は、連邦準備制度理事会(FRB)による金融緩和を受けて、国債や社債等が上昇しました。

ドイツ債券市場は、欧州中央銀行(ECB)の金融緩和姿勢などから上昇しました。

米ドル/円相場は、FRBの金融緩和と米財政赤字拡大懸念などから、米ドル安円高基調で推移しました。

ユーロ/円相場は、中国経済を通じた欧州経済への回復期待などから、米ドルに対してユーロが上昇し、ユーロ円でもユーロ高となりました。

◀ 当ファンドのポートフォリオ ▶ (2019年10月4日～2020年10月5日)

＜ 当ファンド ＞

「PIMCOバミューダ・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド・クラスS(円)」および「PIMCOバミューダ・エマーシング・カレンシー・ハイインカム・ファンド・クラスS(円)」への投資を通じて、先進国債券および新興国債券等世界の債券市場に幅広く分散投資を行うことにより、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

＜ PIMCOバミューダ・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド・クラスS(円) ＞

世界の債券市場では、当期は堅調な推移となりました。米国債券市場は、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済の下振れ懸念が高まったことを受けて、連邦準備制度理事会(FRB)が2度の緊急利下げを行い政策金利をゼロ付近まで大幅に引き下げたことや、量的金融緩和の再開を決定したことなどから、相場は上昇しました。欧州では、新型コロナウイルスへの懸念が高まるなか質への逃避から債券に買いが広がったことが相場の上昇要因となる一方、EU(欧州連合)が経済対策として域内の財政刺激策を導入すると発表したことが下落要因となり、ほぼ横ばいとなりました。英国債券市場は、新型コロナウイルスの感染拡大により景気後退懸念が高まるなか、BOE(イングランド銀行)が緊急利下げを行ったことや、英国のEU(欧州連合)離脱を巡る通商交渉における先行き不透明感が高まったことなどを受けて、当期を通じて上昇しました。米ドル/円為替市場では、米国内で新型コロナウイルスの感染者が増加し、米経済の悪化懸念が高まったことや米金利が低下したことを受けて、当期を通じてみると下落しました(円高ドル安)。ユーロ/円為替市場では、ユーロ圏の景気後退懸念が意識されてユーロが売られる局面もあったものの、欧州復興基金の創設による域内の景気改善期待の高まりを背景に、当期を通じてみると上昇しました(円安ユーロ高)。

< PIMCOバミューダ・エマージング・カレンシー・ハイインカム・ファンド・クラスS(円) >

当期の新興国通貨市場は、米中通商協議の合意を背景に上昇する局面があったものの、新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済の下振れ懸念に加え、協調減産を巡る産油国協議の決裂による原油価格の急落を背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、大きく下落しました。その後、経済活動の再開と原油価格の反発に伴い新興国通貨は上昇に転じたものの、米金利低下を背景に米ドル安円高となるなかで、新興国通貨は対円で上値の重い展開となりました。結果、当期を通じてみると新興国通貨市場は下落しました。

◀ 当ファンドのベンチマークとの差異 ▶ (2019年10月4日～2020年10月5日)

当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載しておりません。

◀ 分配金 ▶ (2019年10月4日～2020年10月5日)

当作成期の分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、基準価額水準や市況動向等を勘案し、下表の通りといたしました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

● 分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第2期
	2019年10月4日～2020年10月5日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	414

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

< 当ファンド >

引き続き、「PIMCOバミューダ・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド・クラスS(円)」への配分比率70%程度、「PIMCOバミューダ・エマーシング・カレンシー・ハインカム・ファンド・クラスS(円)」への配分比率30%程度を基本とし、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

< PIMCOバミューダ・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド・クラスS(円) >

PIMCOでは、新型コロナウイルスの感染拡大および抑制に向けたロックダウン(都市封鎖)等により世界の経済成長は2008-09年の金融危機時以上に大きく落ち込み、2020年通期でみてもマイナス成長に陥るものと予想しています。2020年2月をピークに急激に悪化した世界の景気動向は、各国の金融・財政政策を受けて足元は回復を続けています。ただし、ソーシャル・ディスタンスの継続やサプライチェーン(供給網)の寸断などコロナショックを機にこれまでの経済活動の見直しを迫られる事象も存在するため、回復には時間を要するものと予想しており、多くの先進国では2022年までに経済活動が危機前の水準に戻る可能性は低いとみています。

米国については、家計セクターは債務が低水準にあるなど引き続き健全性を維持しており、連邦準備制度理事会(FRB)の金融緩和政策や過去最大規模の大型財政出動による下支えもあるなか、一定程度の回復がみられています。しかし、新型コロナウイルスの感染再拡大や米議会による追加の経済対策の実施の遅れが景気回復を遅らせるリスクには注意が必要です。

ユーロ圏については、2020年4-6月期の景気の大きな落ち込みからは回復し、総額7,500億ユーロの欧州復興基金による今後の景気の下支えも期待されています。ただし、経済活動がコロナショック前の水準に完全に回復するまでには時間を要すると予想しており、新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念が強まるなか、回復のペースは緩やかになるとみています。

英国については、ユーロ圏と同様に新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて、経済の減速リスクが高まっています。また1月末に正式に離脱したEUとの貿易協定の先行きについては、英国とEUの協議に進展は見られるものの合意には至っておらず、不確実性の高い状況が当面は続くと思われれます。

ファンドの運用戦略については、金利戦略では、ファンド全体でのデュレーションはベンチマーク対比でアンダーウェイトとし、国・地域・年限間の相対価値を重視して投資します。(米国、中国、イタリア、デンマークをオーバーウェイト、ユーロ圏コア国、英国、日本をアンダーウェイト)また、セクター戦略では、社債や資産担保証券のなかで、リスクを考慮しても魅力的と考えられる利回りを提供する銘柄に選択的に投資します。

< PIMCOバミューダ・エマージング・カレンシー・ハインカム・ファンド・クラスS(円) >

PIMCOでは、新型コロナウイルスの感染拡大および抑制に向けたロックダウン(都市封鎖)等により世界の経済成長は2008-09年の金融危機時以上に大きく落ち込み、2020年通期でもマイナス成長に陥るものと予想しています。2020年2月をピークに急激に悪化した世界の景気動向は、各国の金融・財政政策を受けて足元は回復を続けています。ただし、ソーシャル・ディスタンスの継続やサプライチェーン(供給網)の寸断などコロナショックを機にこれまでの経済活動の見直しを迫られる事象も存在するため、回復には時間を要するものと予想しており、多くの先進国では2022年までに経済活動が危機前の水準に戻る可能性は低いとみています。欧米を中心に新型コロナウイルス感染が再拡大しているものの、新興国の中でも特に感染状況が深刻となっていたブラジルなどでは新規感染件数が減少に転じるなど、新興国全体では感染ペースは鈍化しており、足元の景況感は改善傾向にあります。一方、新型コロナウイルスの影響によって落ち込んだ景気を支えるための財政支出により、債務が増加している点は懸念材料の一つです。また、政治面での不安定性が露呈するケースもみられるため、国ごとの選別投資が重要となります。ただし、多くの新興国は先進国と比べ金利水準が高く追加利下げの余地があることや、先進国対比で政府債務比率が低く財政による追加的な景気刺激の余地も残されているという点は、新興国全体の下支え要因であると考えられます。当面、財務状況に余力があり、ショックへの耐性を有する国々の通貨への投資を継続します。具体的には、政府がインフラ投資計画を発表し、財政政策による景気回復への期待が下支え材料となっているメキシコペソを積極姿勢としております。また、相対的な金利水準が高いことなどからドミニカ共和国の通貨などに着目しています。なお、トルコリラについては、一段と地政学リスクが高まっていることなどに鑑み、引き続き状況を注視する必要があると考えています。

お知らせ

該当事項はありません。

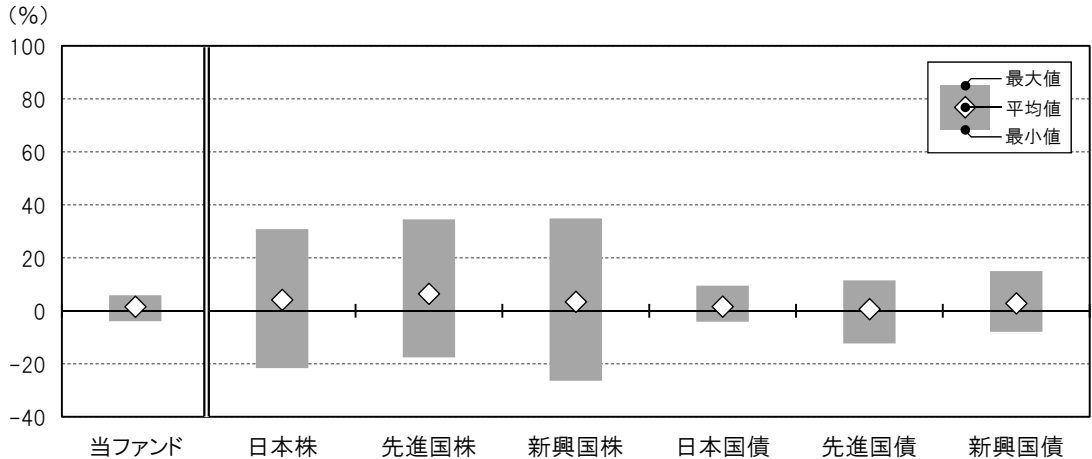
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限(2018年10月4日設定)
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	別に定める投資信託証券*を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	<p>① 主として、投資対象ファンドへの投資を通じ、先進国債券および新興国債券等世界の債券市場に幅広く分散投資を行うことにより、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。</p> <p>② 投資対象ファンドの組入比率は高位を維持することを基本とします。各投資対象ファンドへの投資比率は、原則として、市況環境および投資対象ファンドの収益性等を勘案して決定します。なお、資金動向等によっては、投資対象ファンドへの投資比率を引き下げることもあります。投資対象ファンドについては、収益機会の追求やリスクの分散などを目的として、適宜見直しを行いません。この際、定性評価や定量評価等を勘案のうえ、新たに投資対象ファンドを指定したり、既に指定されていた投資対象ファンドを外したりする場合があります。</p> <p>③ 外国投資信託受益証券の運用指図に関する権限を、ピムコジャパンリミテッドに委託します。</p> <p>④ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>
分配方針	<p>毎決算時(年1回、毎年10月3日。休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。分配金は決算日から起算して5営業日以内に支払いを開始します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分配対象額の範囲 経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ・ 分配対象額についての分配方針 委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。 ・ 留保益の運用方針 収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

*「別に定める投資信託証券」とは、バミューダ籍外国投資信託「PIMCOバミューダ・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド・クラスS(円)」およびバミューダ籍外国投資信託「PIMCOバミューダ・エマージング・カレンシー・ハイインカム・ファンド・クラスS(円)」です。

(参考情報)

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2015年10月～2020年9月)



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	5.9	30.8	34.5	34.9	9.5	11.5	15.0
最小値	△ 3.9	△ 21.6	△ 17.6	△ 26.4	△ 4.1	△ 12.3	△ 7.9
平均値	1.5	4.1	6.4	3.4	1.6	0.6	2.8

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2015年10月から2020年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため2018年10月4日から2020年9月30日のデータを基に算出しております。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株 . . . Morningstar 日本株式指数(税引前配当込み、円ベース)

先進国株 . . . Morningstar 先進国株式指数(除く日本、税引前配当込み、円ベース)

新興国株 . . . Morningstar 新興国株式指数(税引前配当込み、円ベース)

日本国債 . . . Morningstar 日本国債指数(税引前利子込み、円ベース)

先進国債 . . . Morningstar グローバル国債指数(除く日本、税引前利子込み、円ベース)

新興国債 . . . Morningstar 新興国ソブリン債指数(税引前利子込み、円ベース)

※ 各指数についての説明は、P14の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

◀ 組入資産の内容 ▶ (2020年10月5日現在)

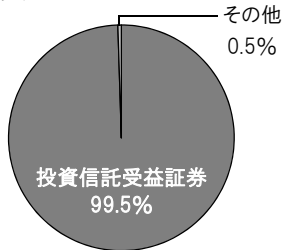
● 組入上位ファンド

銘柄名	第2期末
PIMCOバミューダ・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド・クラスS(円)	70.0%
PIMCOバミューダ・エマージング・カレンシー・ハイインカム・ファンド・クラスS(円)	29.4%
組入銘柄数	2銘柄

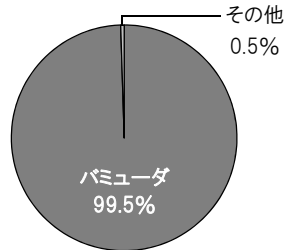
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

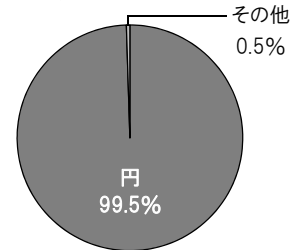
● 資産別配分



● 国別配分



● 通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分は発行国を表示しております。

(注3) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

◀ 純資産等 ▶

項目	第2期末
	2020年10月5日
純資産総額	216,063,777円
受益権総口数	207,460,305口
1万口当たり基準価額	10,415円

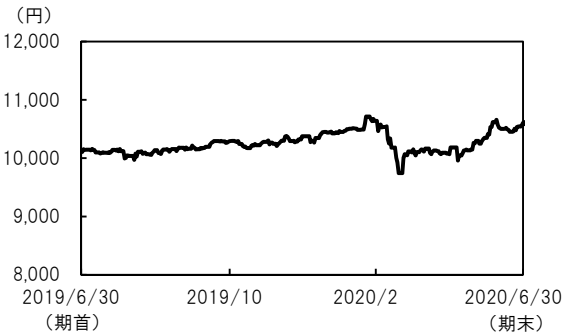
(注) 期中における追加設定元本額は175,516,695円、同解約元本額は31,888,541円です。

◀ 組入上位ファンドの概要 ▶

■ PIMCOバミューダ・グローバル・ボンド・エクス・ジャパン・ファンド・クラスS(円)

※ 作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。

● 基準価額の推移 (2019年7月1日～2020年6月30日)



● 1万口当たりの費用明細 (2019年7月1日～2020年6月30日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

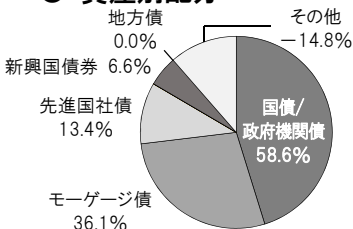
● 組入上位銘柄 (2020年6月30日現在)

銘柄名	債券種別	クーポン(%)	償還日	通貨	保有比率(%)
1 FNMA TBA 3.5% AUG 30YR	モーゲージ債	3.50	2050/08/13	USD	10.3
2 FNMA TBA 2.5% SEP 30YR	モーゲージ債	2.50	2050/09/14	USD	7.9
3 FNMA TBA 2.5% AUG 30YR	モーゲージ債	2.50	2050/08/13	USD	3.9
4 CHINA DEVELOPMENT BANK	新興国債券	4.24	2027/08/24	CNY	2.3
5 FNMA TBA 2.5% JUL 30YR	モーゲージ債	2.50	2050/07/14	USD	2.3
6 ITALIAN BTP BOND	国債/政府機関債	2.45	2023/10/01	EUR	2.1
7 CMLTI 2006-WFH4 M2 1MLIB+29BP	モーゲージ債	0.47	2036/11/25	USD	2.0
8 FRANCE (GOVT OF)	国債/政府機関債	3.25	2045/05/25	EUR	2.0
9 FRONTIER FINANCE PLC SR UNSEC	先進国社債	8.00	2022/03/23	GBP	2.0
10 UK GILT 4.25 12/07/2040 BD	国債/政府機関債	4.25	2040/12/07	GBP	1.8
組入銘柄数					354銘柄

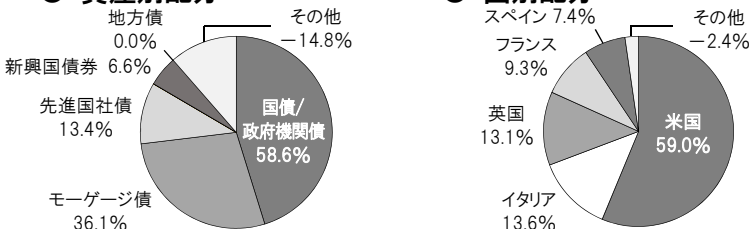
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

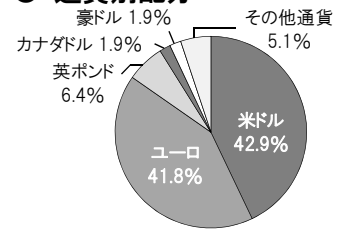
● 資産別配分



● 国別配分



● 通貨別配分



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2020年6月30日現在のものです。

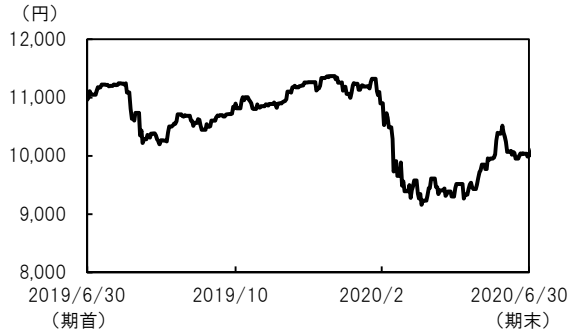
(注2) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は投資国を表示しております。

■ PIMCOバミューダ・エマージング・カレンシー・ハイインカム・ファンド・クラスS(円)

※ 作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。

● 基準価額の推移 (2019年7月1日～2020年6月30日)



● 1万口当たりの費用明細 (2019年7月1日～2020年6月30日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

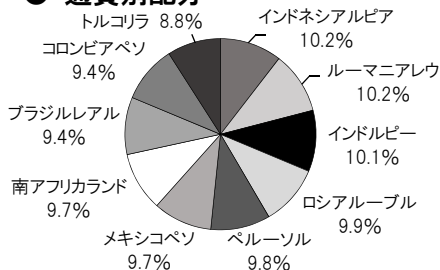
● 組入上位銘柄 (2020年6月30日現在)

銘柄名	業種/種別等	クーポン(%)	償還日	通貨	保有比率(%)
1 COLOMBIA GOVT BOND	国債	10.00	2024/07/24	コロンビアペソ	6.4
2 SOUTH AFRICAN T-BILLS	国債	0.00	2020/08/19	南アフリカランド	5.0
3 MEX BONOS DESARR FIX RT BD M	国債	6.50	2022/06/09	メキシコペソ	4.8
4 COLOMBIA GOVT BOND	国債	7.00	2022/05/04	コロンビアペソ	4.7
5 MEX BONOS DESARR FIX RT	国債	7.25	2021/12/09	メキシコペソ	4.3
6 CHILE GOVERNMENT BOND	国債	4.50	2021/03/01	チリペソ	3.3
7 MEX BONOS DESARR FIX RT BD M 20	国債	8.00	2023/12/07	メキシコペソ	3.0
8 SOUTH AFRICAN T-BILLS	国債	0.00	2020/07/29	南アフリカランド	2.8
9 SOUTH AFRICA (REP) BD SER R186	国債	10.50	2026/12/21	南アフリカランド	2.8
10 HUNGARY GOVERNMENT BOND	国債	1.50	2022/08/24	ハンガリーフォリント	2.7
組入銘柄数					219銘柄

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

● 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、組入上位銘柄、通貨別のデータは2020年6月30日現在のものです。

(注2) 通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

《各指数の概要》

- 日本株：Morningstar 日本株式指数(税引前配当込み、円ベース)は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数(除く日本、税引前配当込み、円ベース)は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数(税引前配当込み、円ベース)は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数(税引前利子込み、円ベース)は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数(除く日本、税引前利子込み、円ベース)は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数(税引前利子込み、円ベース)は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

《重要事項》

Morningstar, Inc.またはイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.の関連会社(これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」といいます)は、当ファンドを組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に当ファンドに投資することの当否、または一般的な世界株式市場の騰落率と連動するMorningstarインデックスの能力について、当ファンドの投資者または公衆に対し、明示または黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。Morningstarインデックスは、MorningstarグループがSBI bonds・インベストメント・マネジメント(以下、「当社」といいます)または当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成または算定を行うにあたり、当社または当ファンドの投資者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額および設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティングまたは売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックスまたはそれに含まれるデータの正確性および/または完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、当社、当ファンドの投資者またはユーザー、またはその他の人または法人が、Morningstarインデックスまたはそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックスまたはそれに含まれるデータについて明示または黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的または使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。

上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害(逸失利益を含む)について、たとえこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。